

のびすく仙台イベント報告



グループ相談

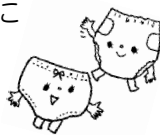
7月10日(木)「おむつはずし」

【講師】大橋 裕美さん(支倉保育所地域子育て支援センター)

おむつはずしのコツとしては

- ① おしっこの間隔が2時間位あくようになったら。
- ② トイレに誘うタイミングは、朝やお昼寝の起きがけがチャンス。
- ③ 好きなキャラクターを貼るなど「行きたくなるトイレ」の工夫をしてみる。

「おむつはずしは失敗しながら覚えていくもの。焦らずに気長に取り組んでいきましょう」の言葉に皆さんホッとされていたようです。



8月28日(木)「子どもの事故防止」

【講師】阿部 頼子さん(仙台青葉学院短期大学講師)

「子どもの生活は全てが遊びの中にあり、成長発達と共に行動範囲が広がり、危険なことも変わっていきます。事故が起きてしまった時に対処できるように知識を身につけてください」との話があり、防止策だけではなく対処法のお話もありました。

子どもの不慮の事故は命にかかわることも多く、家での対処のしかたも大切になってくることから、様々な事例について具体的に教えて頂きました。

※資料は、のびすく仙台情報コーナーで閲覧できます。

7月13日(日)プレパママ講座

【講師】佐藤 祥子さん(助産師)

8組の参加。沐浴体験は「できるかな…」と不安な様子で、沐浴人形を抱く手つきもぎこちなかったプレパパたちでしたが、次第に余裕が出てきたようでした。妊婦体験では、「重い物を持ってあげたりと気配りをしたいと思う」との感想がありました。

参加者の「二人で頑張ろう！」という姿が見られた講座となりました。

7/18(金)・8/22(金)「ママヨガストレッチ」

【講師】石井 智美さん(インストラクター)

10組の親子が参加。和やかな雰囲気の中、ヨガだけでなく赤ちゃん向けの遊びを交えながらの講座となりました。

参加したママから「普段使わない筋肉を動かして体が軽くなりました！」との感想がありました。



夏休みボランティア(7/25~8/25)

始めのうちは緊張してなかなか動けなかった学生たちでしたが、最終日には「楽しかった!」「子どもたちがかわいかった!」などといった感想が聞かれました。

今回の経験が今後の活動に活かされますように・・・。
温かく見守って下さった皆さんありがとうございました。

※ ひろばに学生たちからのメッセージがありますのでぜひ、読んでみてください!

色々な分野の専門家が、毎回交代で子育てについて自由に綴るコラムです♪



オトコの子育て 第4回

『イクメンからアロマザへ』

鈴木俊博

男の子育ては今や常識? いやまだまだ女性が担っているのが現実・・・。しかし子育てに男も女もないことを人類の歴史と文化が示しています。

人間の妊娠、出産、育児は他の種に比べて大変負荷が大きく、進化の過程で不利だったと言われています。にもかかわらず生き延びたのは弱点を「共生」という知恵で乗り切ったからです。妊娠期間が長く出産後も新生児を抱えて他の強い動物に捕食されないで生き延びるには、父や母だけで子を育てるわけにはいかなかったのです。群れをつくり、コミュニティをつくり、社会をつくることであらゆる難問を解決してきたと言えます。しかもそれは文化という形で次の世代に伝え、蓄積し進化してきました。子育てもそのひとつです。

子育てを女だけ、男だけ、親だけでやることは危険なのです。こうした母以外の夫、血族こえた他者が子育てに関わることを「allo mothering」アロマザリングといいます。これが本来、人類の子育て形態なのです。ところが今の子育ては「孤育て」と言われるほど親の孤立が深刻です。「子育ての危機は人類の危機」です。孤立した子育ては個人の問題を超えた人類の種としての問題です。シングルマザーもシングルファザーも女親も男親も他者の力を借りる人類の知恵を忘れないでケサインね!

プロフィール: 子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ事務局長、ソーシャルワーカー、特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク理事。2児の父